

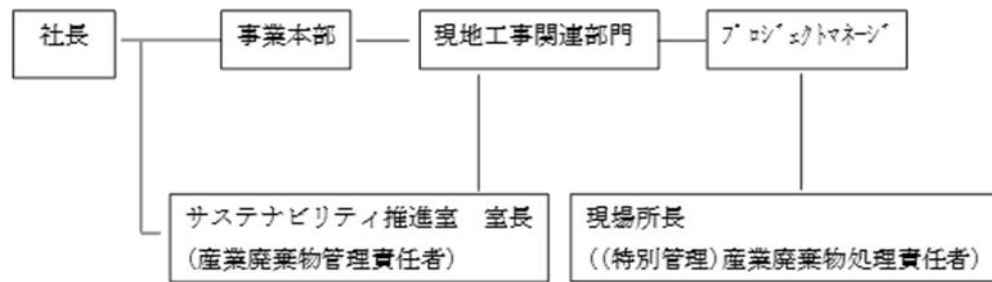
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 8 年 6 月 17 日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者	
住 所 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目7-89	
氏 名 カナデビア株式会社 桑原 道	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 06-6569-0160	
産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	カナデビア株式会社
事業場の所在地	岩手県管轄区域内
計画期間	令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 ¥7,509,036,470円（2024年度）
③ 従業員数	21人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	建設工事→分別→収集運搬・処分委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・分別排出を徹底し、混合廃棄物の発生抑制に努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・分別強化により再利用可能資材の拡大に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃棄物ごとに分別を実施している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物の発生抑制に努める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	自社では行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	自社では行わない。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
自社では行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自社では行わない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	自社では行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	自社では行わない。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	・廃棄物処理法に基づき、許可を有する処理業者と適正に委託契約を締結している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 優良認定処理業者を選定し、適正処理及びリサイクル推進を図る。		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

請
じ
ま
と。

中
間

量
行
収
あ
へ

と
の
入

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じた事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(産業廃棄物の種類: 全体)

排出した産業廃棄物の合計量を記載してください。

不要物等発生量

有償物量

数値は、
上段: 前年度実績値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	1,624.84	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	1.15	t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	1,624.84	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.15	t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②		t
---	--	---

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③		t
---	--	---

自ら中間処理
する量

④		t
---	--	---

④のうち熱回収
を行う量

⑤		t
---	--	---

自ら中間処理した
後の残さ

⑥		t
---	--	---

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦		t
---	--	---

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧		t
---	--	---

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨		t
---	--	---

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩	1,624.84	t
	1.15	

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪		t
	1.15	

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫		t
---	--	---

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

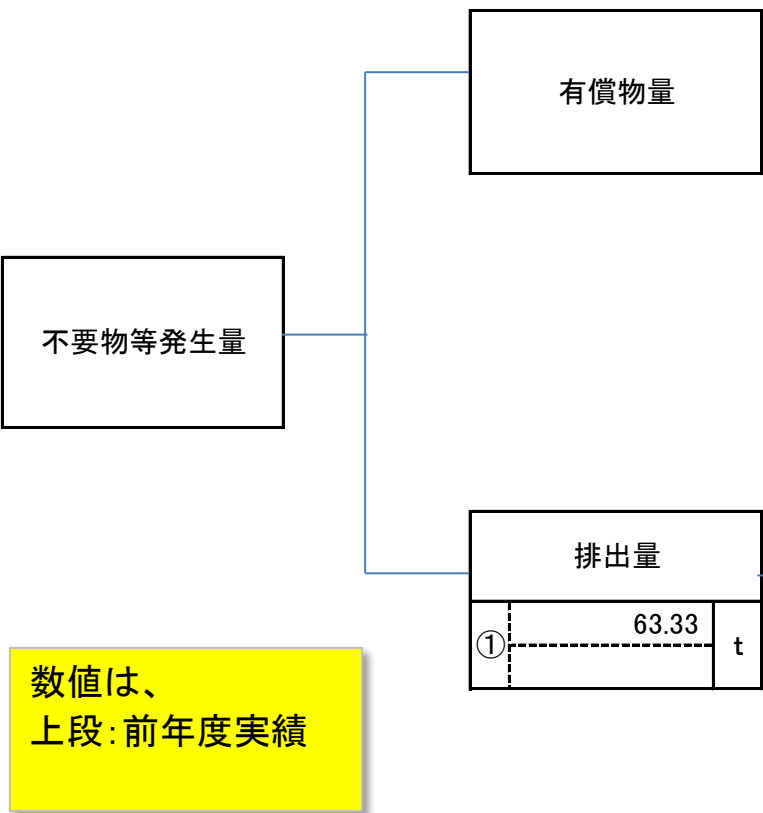
⑬		t
---	--	---

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

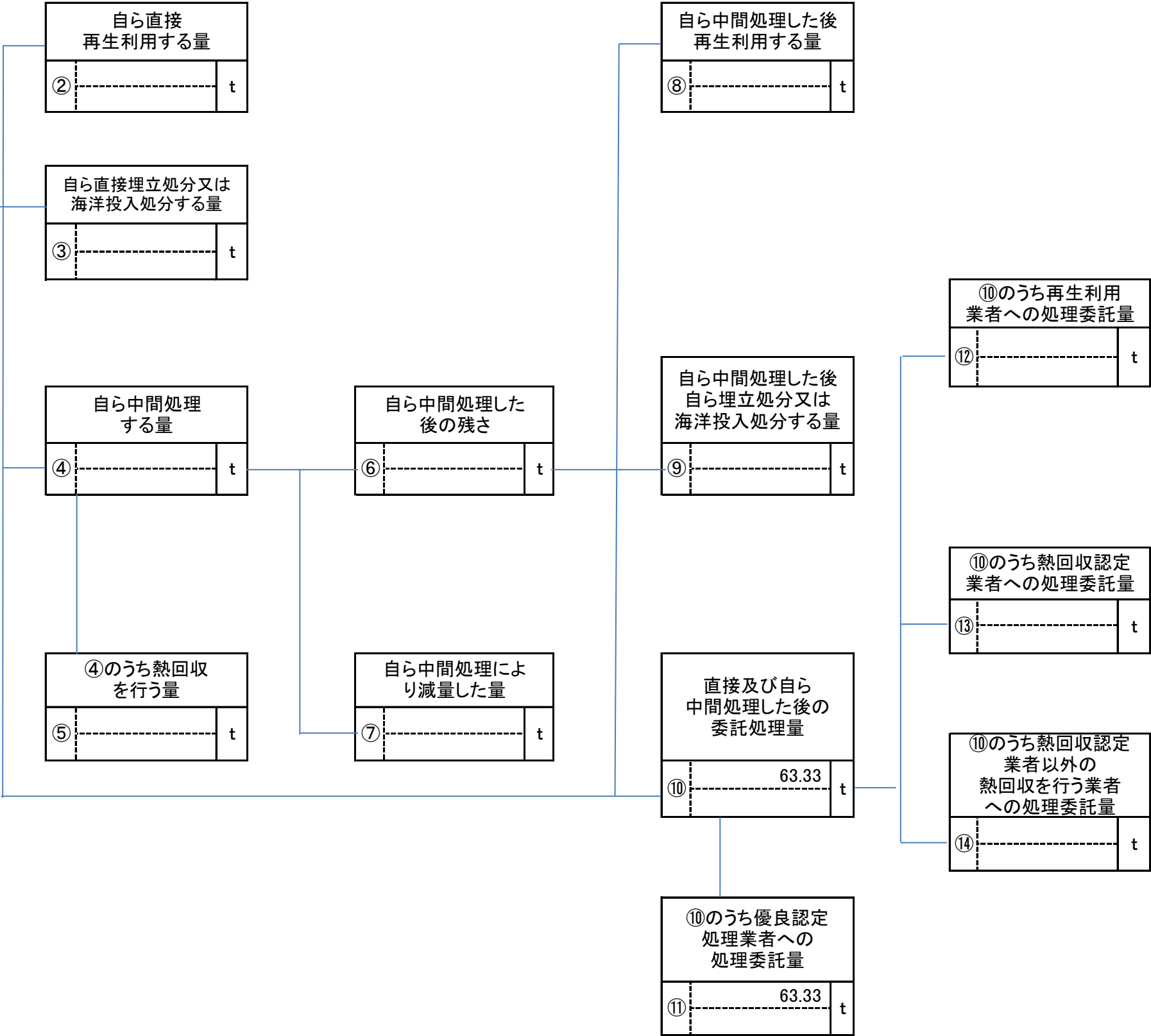
⑭		t
---	--	---

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

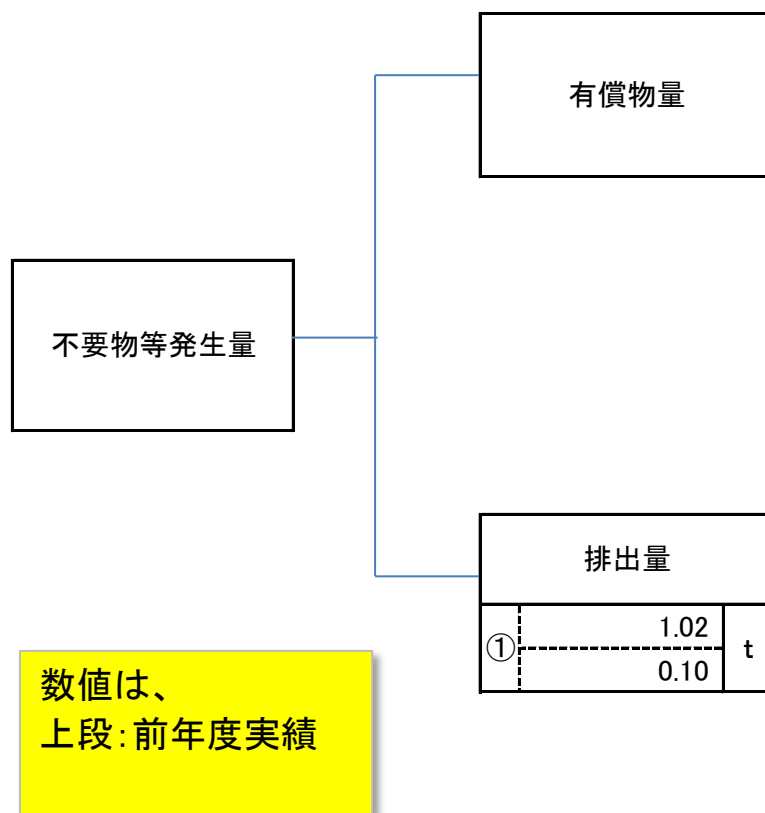


項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	63.33	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	63.33	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	63.33	t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

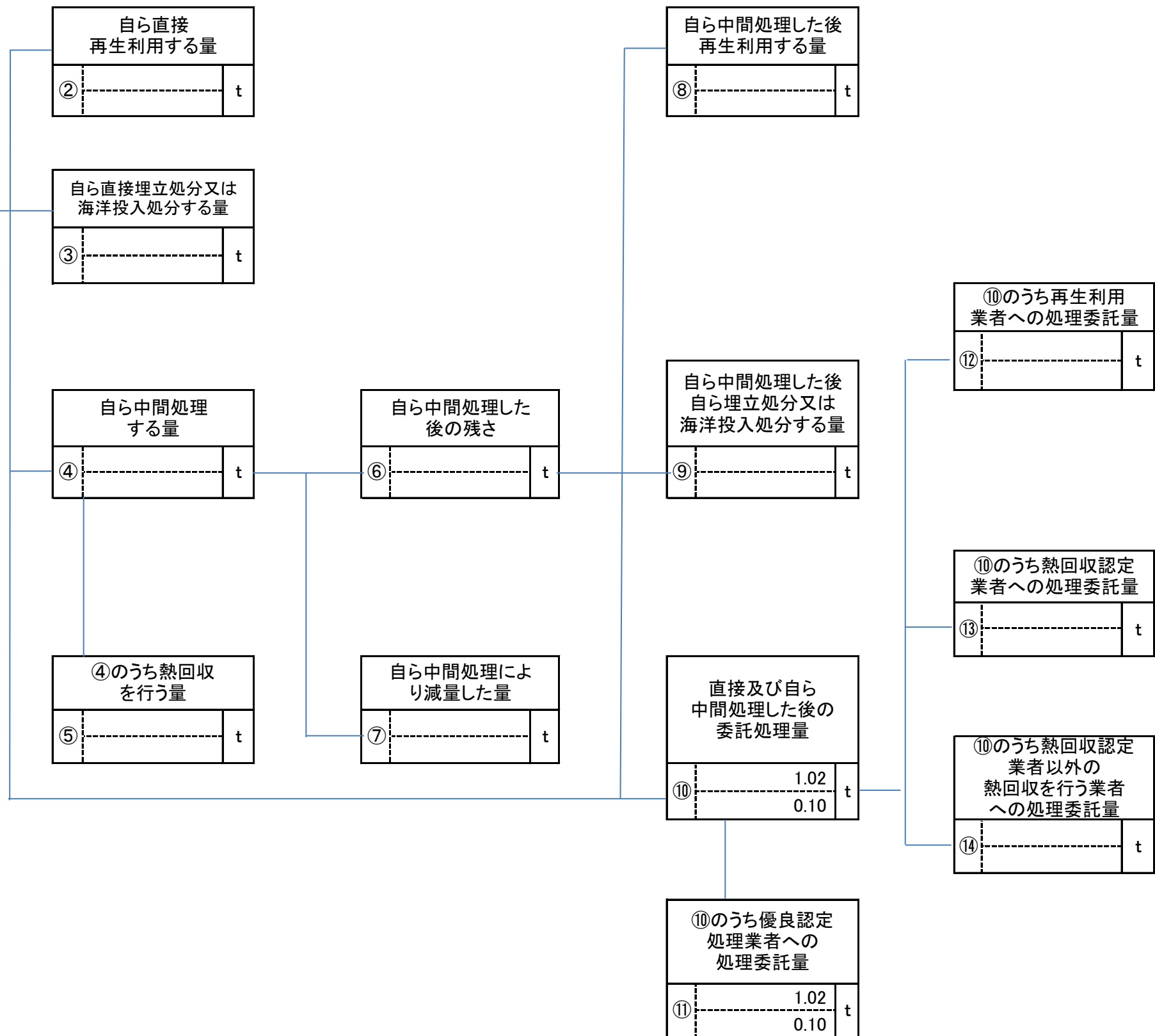


(産業廃棄物の種類: 廃油)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。



項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	1.02 0.10	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	1.02 0.10	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.02 0.10	t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t



(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

不要物等発生量

有償物量

排出量

数値は、
上段:前年度実績

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	3.98 0.35	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	3.98 0.35	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.38 0.35	t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

自ら中間処理
する量

④

④のうち熱回収
を行う量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

(産業廃棄物の種類:

紙くず

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

不要物等発生量

有償物量

排出量

数値は、
上段:前年度実績

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	1.30	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	1.30	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②

t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

t

自ら中間処理
する量

④

t

④のうち熱回収
を行う量

⑤

t

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

t

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

t

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

t

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

1.30

t

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

t

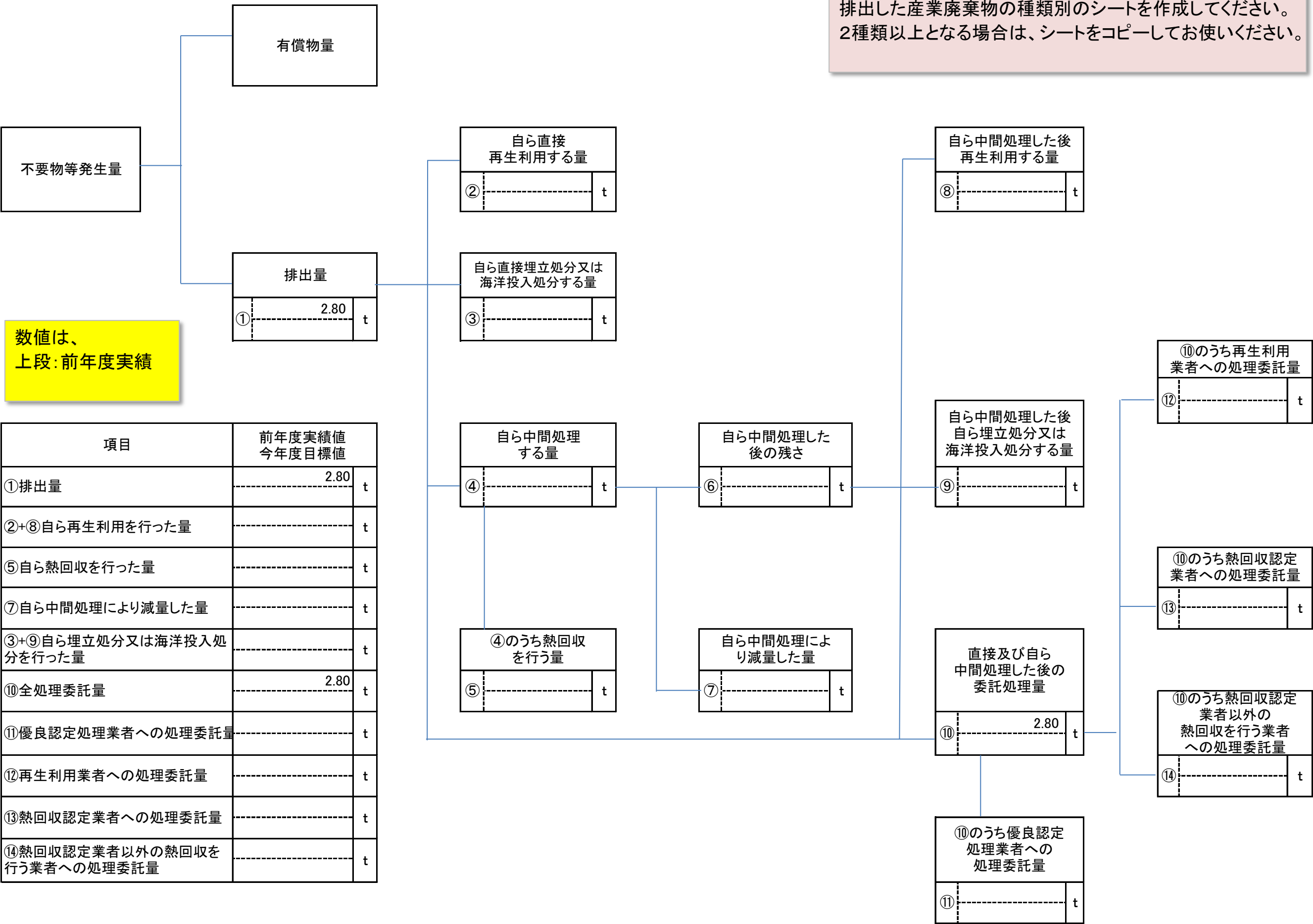
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

t

(産業廃棄物の種類: 木くず)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。



(産業廃棄物の種類:

金属くず

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

不要物等発生量

有償物量

排出量

数値は、
上段:前年度実績

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	4.73 0.70	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	4.73 0.70	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.73 0.70	t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

自ら中間処理
する量

④

④のうち熱回収
を行う量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください。

不要物等発生量

有償物量

排出量

数値は、
上段:前年度実績

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	1,547.68	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	1,547.68	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

自ら直接
再生利用する量

②

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分する量

③

自ら中間処理
する量

④

④のうち熱回収
を行う量

⑤

自ら中間処理した
後の残さ

⑥

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦

自ら中間処理した後
再生利用する量

⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分する量

⑨

直接及び自ら
中間処理した後の
委託処理量

⑩

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

⑭